



校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和7年1月24日
第33号

20日(月)は二十四節気の「大寒」。1年で一番寒いはずの時期ですが、このところ本当に暖かい日が続きます。この冬の寒さもピークを過ぎたという気象情報もあるようです。雪のないグラウンドには、「それならそれで大丈夫！」とも言うかのように子供たちがサッカーや鉄棒で思い切り遊んでいます。元気に外遊びをする子供の姿は見るだけでパワーをもらえる気がします。



校長杯短歌大会を行いました！

これまで私の個人的な思いから少しずつ続けてきた短歌の取組ですが、3学期に入り、全校での短歌大会を行いました。結果発表も終わり、作品集を先日全校に配布しました。保護者の皆様のお手元にも届きましたでしょうか。

今回、児童103名分を含め108首の短歌が出そろいました。嬉しいサプライズは、保護者の方も1名応募(投歌、といいます)してこられたことです。冬休み前に予告をして配っておいた下書き用紙に書いて提出されました。短歌に興味をもち、冬休み中のちょっとした出来事と心が動いた瞬間を「五・七・五・七・七」で表してくださったその心意気に感謝！です。

出そろった短歌に番号をつけて並べ(今回は1月からの誕生日順にしてみました)、名前を伏せたプリントをこちらで作成しました。それを全校に配り、各自がよいと思う短歌を5首選び、番号で投票してもらいました。またその投票用紙にはコメント欄を作り、特にこれだと思う1首についての感想・メッセージも書いてもらいました。

こうした投票には全校児童のほか教職員も協力してくださり、126名分(630票)が集まりました。大変ありがたかったのは、わざわざ国語の授業を1時間使って投票の時間を確保してくださった担任の先生も多かったことです。教室によっては、子供が理解しやすいように全ての歌を先生が読み上げておられたようです。一方、短歌選びを宿題にして家で取り組むようにくださった学級もありました。これはこれで家庭での親子での語らいが生まれたようでよかったです。また、職員室内ではスタディ・メイトさんや週に数回しか勤務されない非常勤の先生方もおもしろがって短歌を選び、コメントまで丁寧に書いてくださいました。「〇番の歌はだれが作ったのかな?もしかしてあの子かな?」などという会話もよく聞かれました。

そして17日(金)。いよいよ結果発表の日でした。互選でたくさん得票のあった歌から順に天・地・人、入選、そして校長選の「校長賞」を発表しました。歌番号を聞いただけで「あ、自分の歌だ!」と気付いてニヤリとする子、歌を読み上げると「ああ、あの歌ね!」とピンとくる子、そして最後にその歌の作者名が明かされると、会場内には「へえー!」「すごい!」と驚くような声が挙がりました。



今回、最高位の「天」は同点で2人いました。インタビューをして、その

歌の背景について語っていただきました。みんな興味津々でその話を聞き、大きな拍手を送りました。

こうしたことから短歌を作る楽しさ、短歌を読む楽しさを感じ取ってもらえたなら、主催者の私としては本当に嬉しいです。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ()

6年生を送る会に向けて始動！

子供たちにとって3学期のお楽しみの行事が「6年生を送る会」です。今年も5年生をリーダーに、活動が始まりました。22日(水)の代表委員会では、まず「6年生にお世話になったこと・感謝していること」を出し合っていました。ここから会の目当てが決まるそうです。まじめに話し合いに取り組んでいる姿が立派でした。



出し物やプレゼントは学年ごとに分担するそうです。在校生の力を合わせた素敵な会になりそうですね。楽しみです。



シリーズ「教室におじゃまします」1月22日(水)4年体育科の巻

「リズムカルに高くとぼう」の目当てで走り高跳びに取り組んでいる4年生です。準備運動と3分間走のあと、その場での1回転ジャンプ、そしてバスケットゴールを巡りながらのジャンプと続け、身体を温めます。



「昨日100cmまでいけた人？」と渡邊先生が聞くと、何人かの手が挙がります。すごいですね。「踏切の仕方や位置、身体の動かし方とかを今日は客観的にビデオで見たいです」と先生は今日の学習のポイントを伝えました。

その後は70cmからバーの高さを徐々に高くしながら順番に跳び、その姿を互いにタブレットで録画し合いました。

「惜しい！もう1回」「もう少し後ろ足に気をつけて！」といった掛け声が聞かれ、励まし合って練習に取り組む4年生ですが、この日はそこに録画した動画も加わり、より学習にバリエーションが増えたように感じました。

バーが高くなるにつれ恐怖心が増すのか、動きが硬くなる子には、バーの前で一度止まってまたぎ越す練習をさせたり、背面跳びやベリーロールになりそうな子には「足で着地しようね」と声をかけたり(※小学生は「はさみ跳び」が基本です)と、渡邊先生の助言が的確でした。うまくクリアできた子の喜ぶ姿も印象的で、見ていて勉強になる授業でした。



<おまけのひとりごと> びっくりすることがあるものです。今日24日はスキー学習の予定でしたが、なんと前日の夜になってスキー場からお詫びの連絡がありました。リフトの故障によりスキー学習を受け入れられないとのこと。学校が留守番電話だったため市教委に電話が入り、そこから連絡を受けた数名の教員が安全メールやら電話連絡やらの対応に当たりました。人手が足りないので市教委の方々も助っ人に来てくださいました。感謝感謝！です。5・6年生の子供たちと保護者の皆様にもご心配をおかけしました。現在、2月のどこかで実施できるよう検討中です。正確に決まり次第お知らせします。このおたよりも予定を繰り上げ今日発行です。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名()